

注意：下記の各事項を熟読の上、各自の判断において本ソフトをご利用ください。

- ① 本ソフトにおけるマクロの有効化は、すべてのマクロを受け入れる設定に変更するものであり、使用者の PC の後のセキュリティを脆弱なものにしてしまう可能性があります。また、Excel を使用するうえで、「推奨しない」設定であるとされています。当ソフトを使用した後は Excel のセキュリティレベルを戻すなど、各自でコンピュータの安全に配慮することを奨めます。
- ② 本ソフトを利用したことにより生じたどのような結果についても、製作者および配布者は一切の責任を負いかねます。

- 0. 分析を始めるために
 - 0.1 コンピュータの設定
 - 0.2 分析のための準備
- 1. マクロの起動
- 2. 打球の位置をプロットする
- 3. 投手の投球コースをプロットする
- 4. 便利な使い方

0. 分析を始めるために

0.0 コンピュータの設定

本ソフトを使用するためには、マクロを起動できるようにコンピュータを設定する必要があります。マクロを起動するための設定は、データを入力するソフト「NeoPSS Ver.1」の「0. コンピュータの設定」をご参照ください。

0.1 分析のための準備

分析を行うには、対象とするチームのデータを Excel 上のひとつのシートにまとめると便利です。以下では、例として図 0-1 に示す「南町大学」を分析の対象とします。

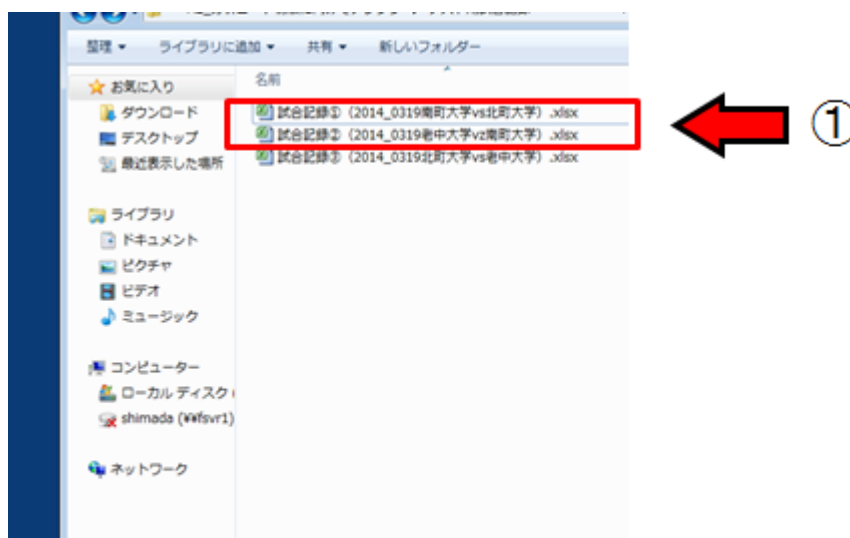


図0-1

分析の対象とするチームのゲーム記録が入力されたブックをすべて開きます。

図 0-2 は、「南町大学」のゲームを入力したブックを開いて状態を示しています。

以後の説明では、上記の手順で開いたブックをそれぞれ「試合記録ブック A」および「試合記録ブック B」と呼ぶことにします。



図0-2

Excel 上の「ファイル (図 0-3 の①)」, 「新規作成 (図 0-3 の②)」で新たな空白のブック (図 0-3 の③) を作成します。



図 0-3

Excel 上、「ファイル」、「名前を付けて保存（図 0-4 の①）」で、新たな名前をつけて保存します（図 0-4 の②）を作成します。ブックの名前には特に制約はありません。後日参照したときに、内容を理解しやすいようなファイル名にすることをお勧めします。

以後の説明では、上記の手順で新たに作成したブックを「分析用ブック」と呼ぶことにします。

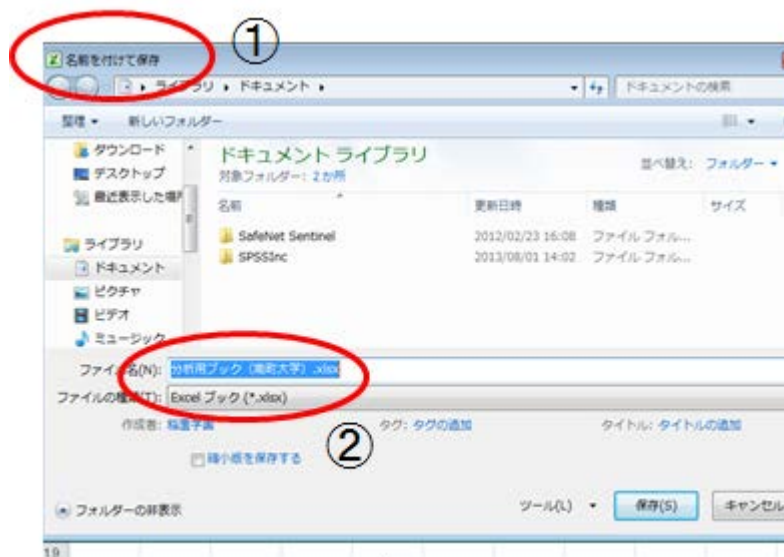


図 0-4

「分析用ブック」上で、データをペーストするためのシートを作成します。「分析用ブック」の「Sheet1」を右クリックして「名前の変更」を選択してください（図 0-5 の①）。

シートの名前は、必ず「試合記録」としてください（図 0-5 の②）。他の名前にした場合はマクロが正常に起動しませんのでご注意ください。

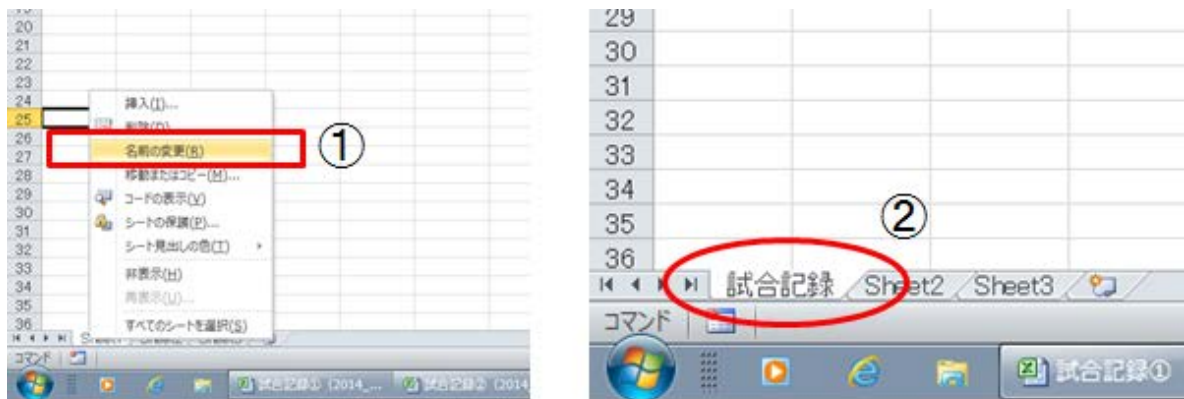


図0-5

「分析用ブック」上の「試合記録」シートに、「試合記録ブック A」および「試合記録ブック B」に記録されたデータをコピーします。本説明書ではまず「試合記録ブック A」をコピーし、次に「試合記録ブック B」をコピーすることとします。

最初のコピーするブックについては、1行目および2行目のデータ項目から（図0-6の①）、データが入力されている最後の行までコピーしてください（図0-6の②）。**データ項目をコピーしないとマクロが正常に起動しませんのでご注意ください。**

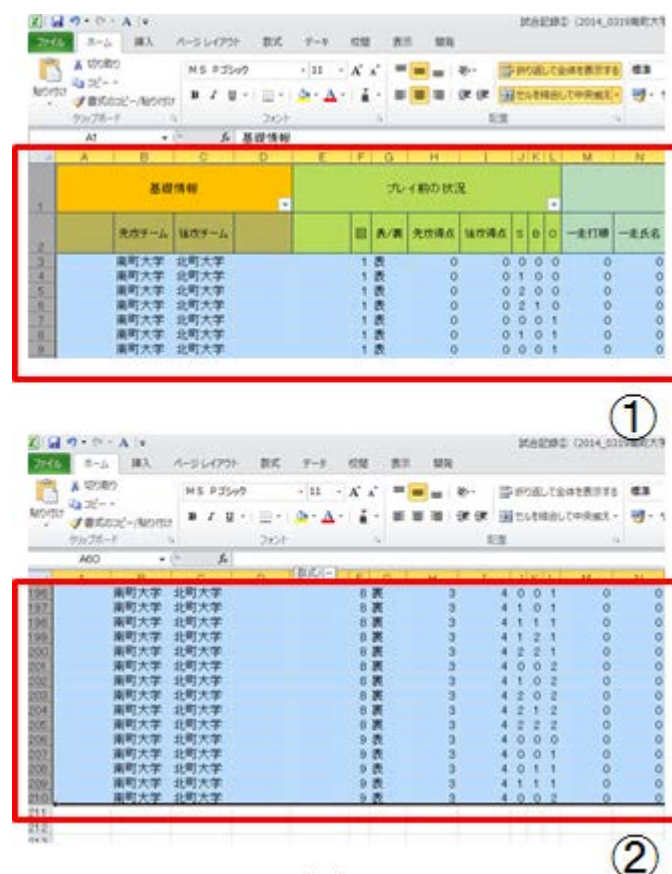
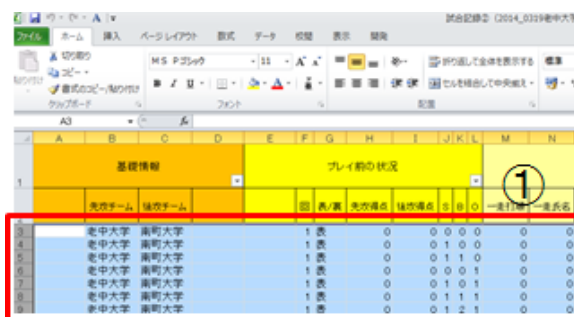


図0-6

次に、「試合記録ブック B」のデータをコピーします。二つ目以降の試合記録をコピーする際は、1行目および2行目のデータ項目は不要です（図0-7の①）、「分析用ブック」の試合記録シートにおける、さきほど貼り付けたデータの下（図0-7の②）に、「試合記録ブック B」からコピーしたデータを貼り付けてください（図0-7の③）。

「分析用ブック」に貼り付けるデータの順番（たとえば「試合記録ブック A」からコピーするのか、あるいは「試合記録ブック B」が先なのか）については、特に優先順位はありません。閲覧のしやすさなどを考えると、日付の古いものから順に貼り付けていくのが無難でしょう。



① 「試合記録ブックB」のデータ部分をコピーする。

② 「分析用ブック」の一番下の行(図では211行)に、①でコピーしたデータを貼り付ける。

③ 貼り付けが完了した様子。

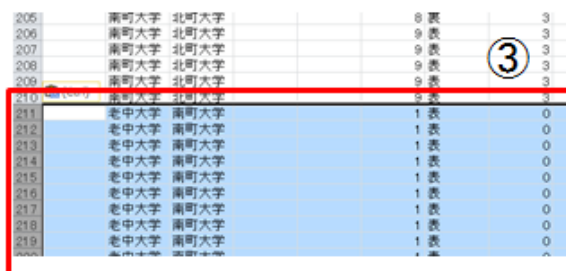
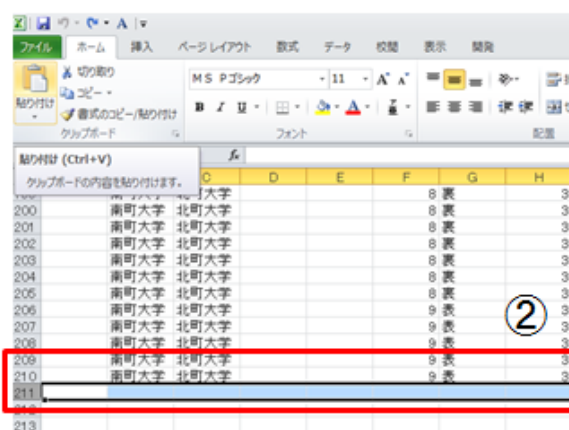


図0-7

以上の作業が終了したら、「分析用ブック」を上書き保存したうえで閉じてください(図0-8)。



図0-8

1. マクロの起動

最初に、Neo PSS のファイルを Excel 上で起動させてください。

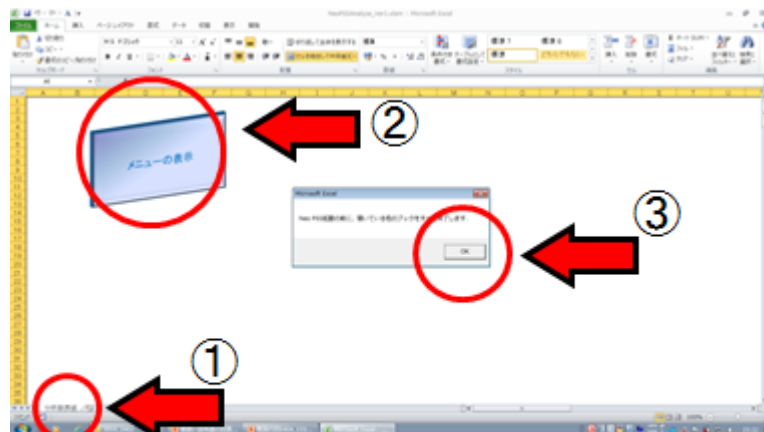


図1-1

- ① “分析版表紙”と書かれたシートを選択します。
- ② シート上のボタンをクリックします。
- ③ メッセージが現れるので、OK ボタンを押して次に進みます。

※ プログラムを立ち上げる際に、他のブックはすべてクローズされます。保存の確認メッセージが現れますので、必要に応じて保存を選択してください。

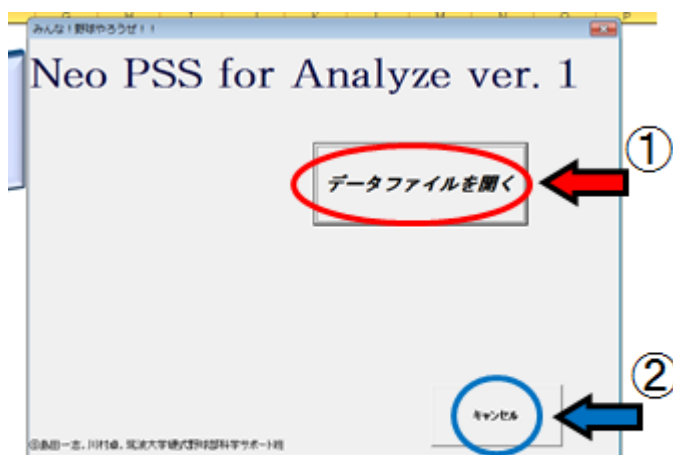


図1-2

- ① ユーザーフォーム上の“データファイルを開く”のボタンを押してください。
- ② ①の時点で入力を中止する場合は、“キャンセル” ボタンを押します。

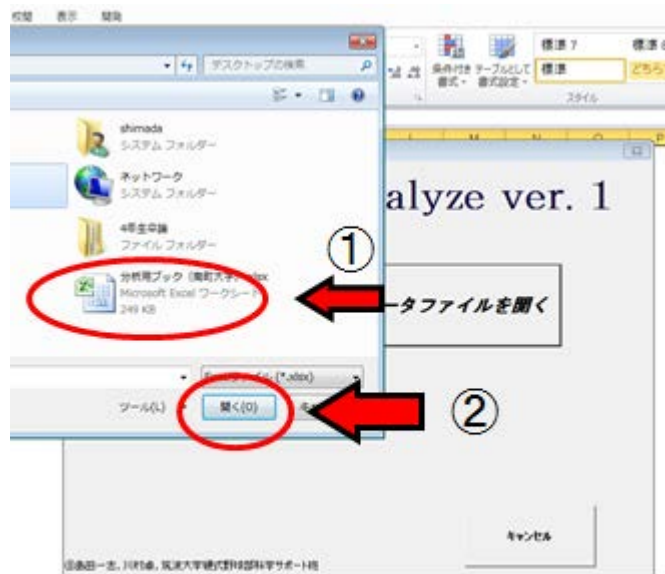


図 1-3

- ① 0.1 で作成したファイルを選択してください。
- ② “開く” ボタンを押してください。



図 1-4

図 1-4 で示したフォームが画面上に現れます。

2. 打球の位置をプロットする

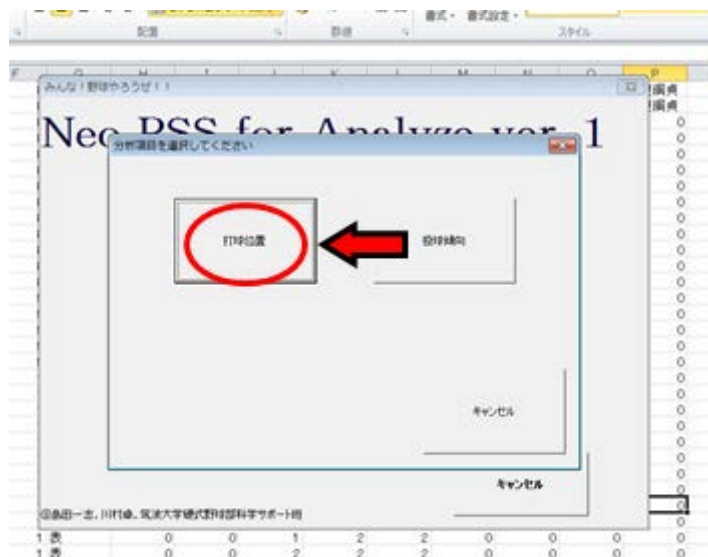


図 2-1

- ① “打球位置” ボタンを押してください。

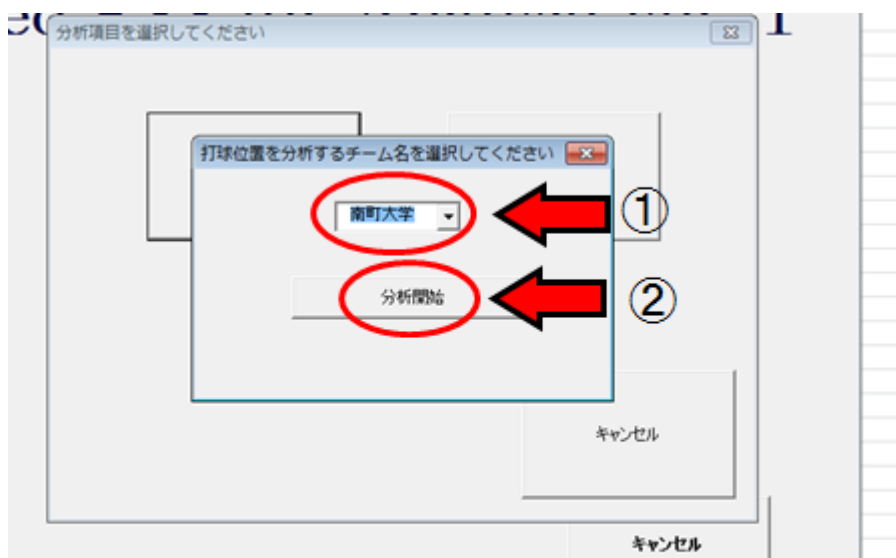


図 2-2

- ① 分析するチームを選んでください。
- ② “分析開始” ボタンを押してください。



図2-3

- ① 「南町大学」の各打者についてシートが作成されます。
- ② 打球の位置、タイプ、強度、打った投球の球種についての情報がプロットされます。

- ・ 打球タイプ
実線：フライ
破線：ライナー
点線：ゴロ
- ・ 打球強度
太い線：A
通常程度の太さ：B
細い線：C
- ・ 球種
黒：ストレート
赤：カーブ
濃い青：スライダー
黄色：シュート、カットボール、フォーク、チェンジアップ、ツーシーム、シンカー、その他

- ③ ④ 分析を終了する場合は、それぞれのフォームにある“キャンセル”ボタンを押してください。

※ チームによってはシート数が多くなる、投手の分析結果と混乱しやすいなどの理由があるため、分析を行ったブックは別名で保存する（たとえば、「南町大学_打者分析_20140405」等と名付けたうえで保存するなど）ことを推奨します。

3. 投手の投球コースをプロットする

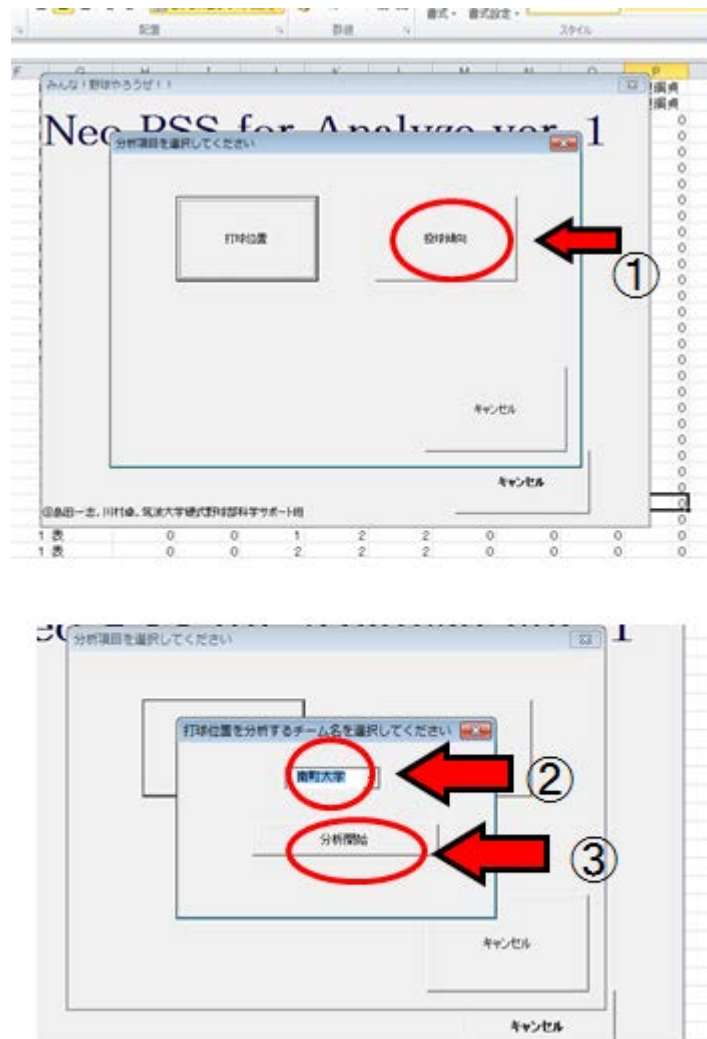


図 3-1

- ① “投球傾向” ボタンを押してください。
- ② 分析するチームを選んでください。
- ③ “分析開始” ボタンを押してください。

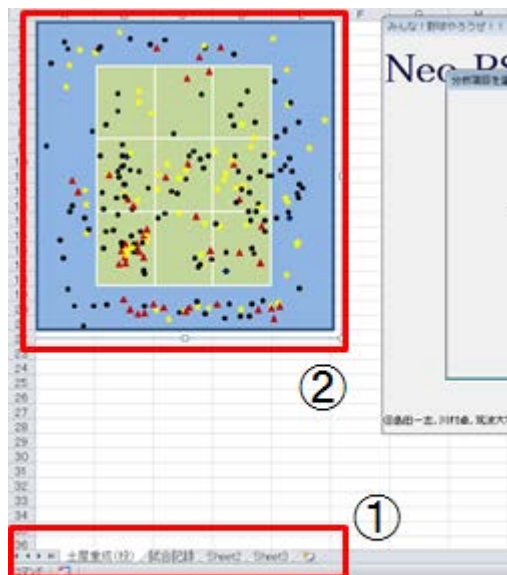


図3-2

- ① 「南町大学」の各投手についてシートが作成されます。
- ② 投球コースおよび球種についての情報がプロットされます。

- 球種

黒の丸：ストレート

赤の三角：カーブ

濃い青のダイヤ：スライダー

黄色の星：シュート、カットボール、フォーク、チェンジアップ、ツーシーム、シンカー、その他

- ③ ④ 分析を終了する場合は、打球位置の場合と同様にそれぞれのフォームにある“キャンセル”ボタンを押してください。

4. 便利な使い方

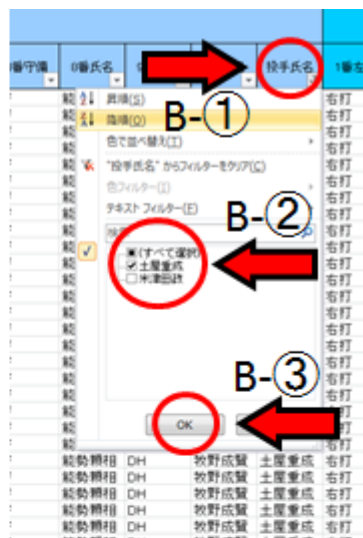
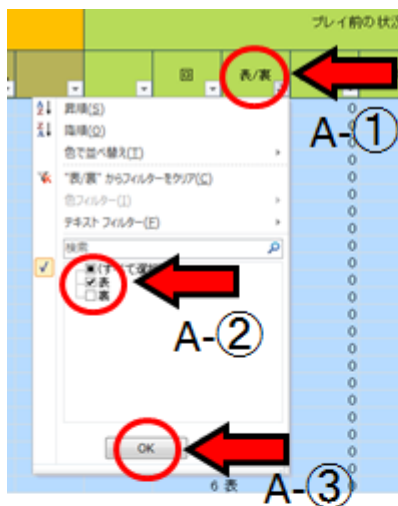
実際の使用に当たっては、**Excel のフィルター機能を使用しながら**分析を進めると便利です。

例として、「南町大学」の「土屋重成」投手の、カウント 0 ボール 0 ストライクでの配給傾向を分析します。
フィルターを使用して、上記の状況にあるときの行を抜き出したうえで分析を行います。



図4-1

- ① 分析用ブックの「試合記録」シートを選択し、「ファイル」のタブを選択してください。
- ② シートの 2 行目を選択した状態にしてください。
- ③ 「並べ替えとフィルター」を選択してください。
- ④ 「フィルター」を選択してください。



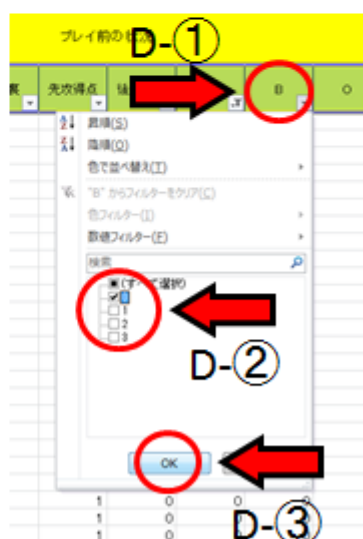
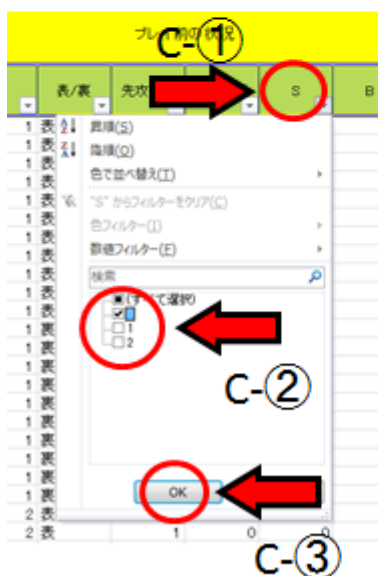
A-①②③

「南町大学」が後攻で守備についている行を選択するため、「表/裏」の行を“表”に設定し、“OK”を押します。

※先攻で守備についている場合は、「表/裏」の行を“裏”に設定したうえでデータを抜き出す必要があります。

B-①②③

「土屋重成」投手が投球している行を選択するため、後攻の「投手氏名」の行を“土屋重成”に設定し、“OK”を押します。



C-①②③

0 ストライクの行を選択するため、「S」の行を“0”に設定し、“OK”を押します。

D-①②③

0 ボールの行を選択するため、「B」の行を“0”に設定し、“OK”を押します。

図 4-2



図 4-3

このようにして、「南町大学の土屋重成投手が表の守備で登板している、カウント 0 ボール 0 ストライク」の状況が抽出されました。

抽出したデータを新たなブックにコピーし、0.1 の手順でブックを保存したうえで「投球傾向」の分析を行うと、図 4-3 のような図が作成されます。

その他、走者の状況などもフィルターによって抽出することで、さらに詳細な分析を行うことが可能です。